

2011 年度 第 19 回 日本線虫学会大会プログラム

9月15日(木)

10:15~12:00 一般講演

(座長: 吉賀豊司)

10:15 101 ○吉田睦浩(九州沖縄農研) 西表島産昆虫病原性線虫 *Steinernema abbasi* の高温環境下における残効性

10:30 102 ○真田陽平・田辺博司*・竹内祐子・二井一禎(京大院農*・(株)エス・ディー・エス バイオテック) 昆虫病原性線虫を用いたナラ枯れ防除法の検討

10:45 103 ○Vladimir V. Yushin, Mutsuhiro Yoshida*, Sergei E. Spiridonov** (A.V. Zhirmunsky Institute of Marine Biology, FEB RAS and Far East Federal University, Vladivostok, Russia, *Nat. Agr. Res. Ctr. Kyushu-Okinawa Reg., **A.N. Severtsov Institute of Ecology and Evolution, RAS, Moscow, Russia) 2-in-1: How dimorphic spermatozoa develop in a single testis of the nematode *Steinernema abbasi* (Nematoda, Steinernematidae)

(座長: 小坂肇)

11:00 104 ○真宮靖治 トレハロースがマツノザイセンチュウの寿命と増殖活動におよぼす影響

11:15 105 ○金子 彰・新屋良治*・竹本周平**・竹内祐子・二井一禎(京大院農*・学振特別研究員**・農環研特別研究員) マツノザイセンチュウ純系間における遺伝子発現プロファイルの比較

11:30 106 ○前原紀敏・神崎菜摘*・相川拓也・中村克典(森林総研東北*・森林総研) *Bursaphelenchus* 属線虫4種の Lamiini 族カミキリムシ4種への乗り移り

11:45 107 ○中里 岳・小倉信夫(明治大学) マツノザイセンチュウ分散型4期幼虫の生起に関わる物質のバイオアッセイ系

12:00~13:00 休憩、昼食

13:00~13:45 総会

13:45~14:00 休憩

14:00~17:30 一般講演

(座長: 前原紀敏)

14:00 108 ○奥村悦子・上野大介・吉賀豊司(佐賀大農) ベニツチカメムシ体表面に存在する *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫誘引物質の分画

14:15 109 ○秋庭満輝・神崎菜摘(森林総研) マツ枯死木から分離された *Aphelenchoidea* 上科線虫

14:30 110 ○神崎菜摘・田中龍聖・池田紘士*・滝 久智・杉浦真治・松本和馬(森林総研*・学振特別研究員) 数種の日本産シデムシ類より検出された線虫(続報)

14:45 111 ○清水 愛**・秋庭満輝・田中龍聖・升屋勇人***・岩田隆太郎*・福田健二**・神崎菜摘***(*日大生物資源**東大院新領域***森林総研) アカマツアトマルキクイムシに関連する線虫相

(座長: 神崎菜摘)

15:00 112 ○関本茂行(横浜植防) 分子生物学的手法によるアジア産 *Meloidogyne enterolobii* の識別

15:15 113 ○S. Thar, C. Kizaki, E. Sawada*, N. Abe*, K. Toyota (Tokyo University of Agriculture and Technology, *Tokushima Agriculture Forestry and Fisheries Technology Support Centre) Development of specific primers to root rot nematodes *Hirschmanniella* spp. causing damage to lotus and relationship between the initial density and the damage index

15:30 114 ○酒井啓充・武田 藍*・水久保隆之(中央農研**千葉農林総研) 日本産 *Xiphinema brevicolle* の分子系統解析

15:45~16:00 休憩

(座長: 竹内祐子)

16:00 115 ○澤 進一郎・江島千佳・Bui Thi Ngan・Derek Goto*(熊大・院・自然科学、*北大・創成) 線虫の植物感染に関与しうる CLE ペプチドホルモンシグナル伝達機構の解析

16:15 116 ○藤本岳人・安部 洋*・瀬尾茂美**・水久保隆之(中央農研**理研 BRC**生物研) シロイヌナズナ及びトマトにおけるサツマイモネコブセンチュウ感染数を減少させる天然テルペン化合物の同定

16:30 117 ○古賀一生・橋口円海・吉賀豊司(佐大農) サツマイモネコブセンチュウにおける RNA 干渉によるエンドグルカナーゼ遺伝子の抑制とその効果

(座長: 水久保隆之)

16:45 118 ○渡邊裕之***・岩堀英晶**・星 良和*・上杉謙太**・立石 靖**(*東海大農**九州沖縄農研***現在:(有)渡邊鉄工) ネコブセンチュウ抵抗性ウリ科植物の探索(1)

17:00 119 ○串田篤彦・田澤暁子*(北農研*道総研十勝農試) アズキの近縁野生種で見つかったダイズシストセンチュウ抵抗性の特性

17:15 120 ○立石 靖・岩堀英晶・上杉謙太(九州沖縄農研) エンバク品種「たちいぶき」における増殖性が異なるサツマイモネコブセンチュウの検出

18:00~20:00 懇親会

9月16日(金)

9:15~14:30 一般講演

(座長: 奈良部孝)

9:15 201 ○伊藤賢治(北海道農研) 各種イネ科緑肥作物と非寄主作物栽培時のキタネグサレセンチュウ密度と後作ダイコンでの被害低減効果

9:30 202 ○上杉謙太・岩堀英晶・立石 靖(九州沖縄農研) ニセミナミネグサレセンチュウのキクおよび 22 作物における増殖性

9:45 203 ○北野のぞみ・山下一夫(青森産技セ野菜研) イモグサレセンチュウの耐久型出現はショ糖濃度に依存する

(座長: 豊田剛己)

10:00 204 ○後藤万紀・高木素紀・鹿島哲郎(茨城農総セ園芸研究所) レンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* に対する有効薬剤のスクリーニング

10:15 205 ○高木素紀・後藤万紀・鹿島哲郎(茨城農総セ・園芸研究所) レンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* の圃場周辺雑草及び水田作物への寄生について

10:30 206 ○鈴木崇之*, **・岩堀英晶*, **・安達克樹*, **(*九州沖縄農研・**九大院) 植物検定法およびベルマン法によるネコブセンチュウ密度およびサツマイモの線虫害の推定

10:45~11:00 休憩

(座長: 酒井啓充)

11:00 207 ○古川勝弘・奈良部 孝*・黒丸隆太郎**(道総研北見農試・*北農研センター・**根室農改) 生産者によるジャガイモシストセンチュウ検診

11:15 208 ○高田雅之・水越 亨・荒木和哉・齋藤健一*(道総研・*シン技術コンサル) 衛星画像によるダイズシストセンチュウ被害分布の推定に向けた被害葉のスペクトル特性解析

11:30 209 ○佐藤恵利華*・須賀有子*・福永亜矢子*・豊田剛己**・前 治代***・高田敦之****・植草敏秀****・三宅和人****・奥村 一****・小勝淑弘****・小谷野伸二*****・松浦理江*****(*近農研・**農工大・***デザイナーフーズ(株)・****神奈川農技セ・*****東京農総研) リアルタイム PCR によるダイコンのキタネグサレセンチュウ被害許容水準の作成第 2 報

11:45 210 ○村上理沙・豊田剛己・前 治代*・服部 玄*(東京農工大 BASE・*デザイナーフーズ(株)) 愛知県木曾川流域におけるダイコンのリアルタイム PCR 法を用いたキタネグサレセンチュウ要防除水準の作成

12:00~13:00 休憩、昼食

(座長: 岩堀英晶)

13:00 211 ○武田 藍・市東豊弘・柴田忠裕(千葉農林総研) 植木根鉢のフェントロチオン乳剤処理による線虫密度低減効果

13:15 212 ○奈良部 孝・谷野圭持*(北海道農研・*北大院理) 全合成されたふ化促進物質 Solanoeclepin A のジャガイモシストセンチュウに対するふ化促進効果

13:30 213 ○渡邊貴由・紀岡雄三・野口勝憲(片倉チッカリン株) *Paecilomyces* 属寄生菌と *Arthrobotrys* 属線虫捕捉菌の培養物施用によるサツマイモネコブセンチュウ密度への影響

(座長: 立石靖)

13:45 214 ○水久保隆之・藤本岳人・富高保弘・津田新哉(中央農研) 非病原性微生物を用いたトマトとピーマンのネコブセンチュウ害抑制に影響する要因

14:00 215 ○相場 聡(北農研) 湛水処理と対抗作物栽培、有機物施用、天敵微生物接種の組み合わせがダイズシストセンチュウの増殖に及ぼす影響

14:15 216 ○荒城雅昭(農環研) カバークロップ栽培, 耕起などの耕種方法が土壤線虫相に及ぼす影響の大型ポット試験による解明—予報

14:30~15:00 休憩

15:00~17:45 公開シンポジウム講演「線虫学のパイオニアから学ぶサイエンスのこれから」

(総合司会: 二井一禎)

15:00 イントロダクション

15:05 S1 石橋信義 我が国における有用線虫学の経緯

15:35 S2 岡田浩明(農環研) 日本における線虫群集研究

16:05 S3 清原友也 マツノザイセンチュウの発見そのとき

16:35 S4 新屋良治(京大院農) マツノザイセンチュウ研究の新たな展開

17:05 S5 長谷川浩一(中部大応用生物) 実験材料としての線虫の可能性

17:35 総合討論

(世話人: 奈良部 孝・長谷川浩一・竹内祐子)
